

自昭和十七年一月一日
至昭和十七年一月三十一日

陣中日誌

第三號

歩兵第十一聯隊第七中隊



0002

月 日

一月一日 火曜日 晴 於ルストー(ニ)河口

一 船團ハ零時五分ルケ、出發至嚴ナル警戒裡ニ第二次
集結地タルベルカン河口ニ向テ前進ス

ニ 土時十五分敵重爆撃機、襲撃ニ遭過土時四十分
再ニ敵機二機、空襲ニ了シ中隊克ク之ニ猛射ヲ浴セ土

時甲五分一機撃墜シ全員、志氣大ニ興テル其後ハ友
軍機援護ノ下ニ一路南進ス

ニ 土時五分ベルカン河口ニ渡河上陸準備ヲ完了ス
四十分時ベルカン河ヲ北上シ土時四十分メリントンニ到着ス

中隊ハ直ケニ天作命第三號ニ基キメリントンク四又路米東
ニ對シ警戒ヲ實施ス

五 天作命第一號
第三大隊命令
一月一日 一 X . .
ベルナム河口。

一 飛行機ノ通報ニヨレバ、ポートスタンハ公附近ニ在リシ

陸軍

0003

敵哨戒隊ハ反車機ノ攻撃ニ依リ南方ニ逃走セリ

大隊第五中隊(一小隊欠)第七中隊欠聯隊砲連射砲

一小隊通信中隊ノ一部ニ兵一小隊屬セラレハ光道

隊ヲ交代シ本日没後現地地出發本夜暗ニ乘ジセラン

コール東側河岸ニ奇襲上陸セントス

二大隊上陸部署ハ三夜作命第五六號ニ同ジ

三連射砲小队ハ第六中隊ニ續キテ上陸スベシ

四第六中隊ハ上陸後同地通信線ヲ切断シ住民ノ敵側

ニ逃避スルヲ阻止シ支隊ノ企圖敗退ニ努ムベシ

五第五中隊主力第七中隊ハ上陸後本屆ニ復歸スベシ

六予八大隊本部ト共ニ上陸ス

第一大隊長 三 柴 少 佐

下連法 各隊長ヲ兼メ口達後命令ヲ交領者ニ口筆記セシム

東京・大橋納

0004

命令六

二大佐命第二號

第三大隊命令

一月一日一九〇〇年

一飛行機ノ通報ニ依リバ、メリントン附近ニハ敵ノキスセシ
タリ、ヲ新落ニハ任民、往來盛ニシテ敵兵ニ氷ニスセト利
断セラル

先遣隊ハ即刻現在地出發シ、メリントンニ上陸シ之ヲ
確保セントス

二第六中隊ハ夫兵トナリ即時現在地出發、メリントン埠

頭ニ上陸シ、メリントン北端ニ進出之ヲ確保スヘシ

三前隊ノ編隊ハ本隊トナリ現在ニ態勢ヲ以テ、メリントン

ニ上陸シ兵力ヲ集結スヘシ

四予ハ本隊ノ先頭ヲ前進シ、メリントンニ到ル

第三大隊長 三柴 少佐

下達後傳令機ヲ以テ各隊長ニ傳達後命令受領者ニ口達

陸軍

0005

命令

×

筆記セシム

二大隊命第三號

第三大隊命令

八月一日タニ五

一、第六中隊ノ力關ニ成リ、メリンタンノ敵ハ退却ヲ開始セリ、大隊ハ依然現任任務ヲ續行シ、メリンタンヲ確保セントス

二、第六中隊ハ速カニ兵力ヲ集結シ、シンハンマンバトニ進出シ、同地ヲ確保スルト共ニ北方ノ敵情ヲ搜索スベシ

機關銃一小隊及大隊砲一小隊速射砲一小隊ヲ配屬シ、第三中隊長ハ部下一小隊ヲ、アルフアベルナムニ進出セシメ

同地附近ヲ確保スルト共ニ敵情地形ヲ搜索セシムベシ、大號無線ノ分隊ヲ屬ス

主力ハ兵力ヲ集結材料場陸後ガボニン、デロツクヲ占領スベシ、出發時機ハ別命ス

東京・大橋納

0006



現在
日

ハ

一月廿一日 水曜日 晴 於スタンレークマソン

一一名

筆記本

下達法 各隊長木村少尉并命令受領者ヲ集メ口達

第三大隊長 三 紫 少 佐

ハ子ハメリントング中火ニ在リ

メニ突小队ハ橋橋消火延焼ヲ防止スベシ

指揮下ニ入ルベシ

メ大隊砲小队及速射砲小队ハ揚陸修了後第六中隊長ノ

施スベシ

五第六中隊長ハメリントング四叉路以東ヲ封シテ警戒ヲ置

小發ニテ居ス

火ニ敵情ヲ偵察スベシ

四町田小队ハメリントング村岸ニ到リ同地ヲ確保スルト

陸軍

0007

一 中隊ハ七時起床九時迄ニ隨時出發シ得ル体勢ニアラシム
 ニ大隊ハ海上機動隠匿ノ目的ヲ以テ十時ベック河曲極東
 ニ向ヒ前進ス
 三 第七中隊長ハ第八中隊長ニ合シ指揮シ、ノリントン附近ニ
 集結ヲ命ゼラル
 四 十時時勝隊主力ノ前進ニ伴ヒ中崎川ノ村ニ指揮セシメ船
 内ノ材料彈薬卸下ヲ實施セシム
 五 中隊ハ大隊集結ノタメ十九時四十分主力ハ自轉車ニテ
 徒歩部隊ハ御場曹長ニ指揮セシメ大隊ノ集結地ニ
 本道上ニ又路ニ向ヒ出發ス 三時集結ヲ終ル
 六 三時三十分中隊ハ大隊ノ最後尾ニアリテ先ズアレクマニン
 ニ向ヒ前進ス
 七 十月三日ホートンエドモ港出發際坐礁シ支隊主力ト別
 行動ヲ取リ、ランゴールニ向ヒ航行中ノハタリ乗船ノ令

東京・大森納

0008

陸軍

回伍長以下五名ハ独立ニ兵舟航那兵ニ一月二十日十六時頃セラ
 ンゴール沖約一軒地奥ニ達セリ 敵ハ我ハ舟航那ヲ發
 見スルヲ要塞砲及各種重火器ヲ以テ一斉ニ射撃シ来セリ
 此ノ時植木一等兵ハ敵情監視ノタメ船橋ニアリテ上空陸上ヲ
 終言中ナリシガ此ノ情況ヲ察知スル直ケニ各隊長ニ報告スルト
 共ニ之ヲ制止スシメント勇猛果敢ニ射撃ヲ續行中果敢ニ我
 砲彈破片劇々交クテ時々分名譽ヲ歿スル者アリ
 中隊ハ今ハ無キ同二等兵ノ英靈ニ感謝ノ意ヲ表スト共ニイ
 ヨク一致團結的勇退ノ決意ヲ固メタリ

命令

ハ 二天作命第四號

第三大隊命令

一月二十日。九三〇

一機関銃ヲ有スル約三〇〇敵ハ第六中隊ニ擊退セラレ
 北方ニ逃走セリ

0009

支隊ハ依然現任務ニ在リテ爾後、行動ヲ準備セントス
 二大隊(第七第八中隊)ヲ缺ギ速射砲一小隊騎隊砲一小隊
 工兵一小隊ヲ屬セラルハ陽動ノ目的及ラ本目一ツハ現在
 地出發メリンタン東北方約一〇料ハラク河屈曲英
 附道ニ向テ前進セントス
 三第五中隊(一小隊欠)ハ夫英中隊トナリ本道上^區ヲ極
 英附道ニ向テ前進スベシ
 四爾余ノ諸隊ハ本隊ナリ左記行軍序列ニ從テ夫英
 中隊ノ後方約三〇ハ末ヲ前進スベシ

五
 記

大隊本部 速射砲小队 第六中隊 機關銃中
 隊 大隊砲小队 工兵 騎隊砲小队
 五第六中隊ハ速カニ現配備ヲ撤去シ現在地附近ニ於テ
 行軍序列ニ入ルベシ

東京・大橋納

0010

機関銃小隊ハ本局ニ復歸大隊砲小隊速射砲
小隊ハ爾今予直轄トス

又町田小隊ハ第三大隊ト其守備ヲ交代シ大隊ニ進及
スヘシ

又第八中隊ハ第三大隊ト其守備ヲ交代シ第六中隊
長ノ指揮ニ依リメリントン附近ニ集結スヘシ

ハ藤井小隊ハ現在地ヲ撤收シメリントンニ到リ本
局ニ復歸スヘシ

九子ハ本隊ノ先頭ヲ行進ス

第三大隊長 三 柴 少 佐

下重法 各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記スル

二大隊命令第五號

第三大隊命令 八月二日ニ
ハニコノラゴット

一支部ハ主力ヲ以テ、スニカイ附近ニ進出シ第三大隊ハ

命令

0011

メリタン河ヲ溯江シタニヨリマリムニ進出ス

第三大隊(聯隊砲)一小隊速射砲一小隊通信中隊

一部 二兵一中隊(三小隊欠)ヲ屬セラルハ現在地

ヲ出發「カニホニアヘルクニ」ニ進出シ「スニカイ」方向ノ地

形敵情ヲ搜索セントス

ニ第五中隊(機關銃)一小隊屬スハ夫兵中隊トナリ

ヲロクアインシン「バタンホ」道ヲ「バタンホ」ニ向テ前

進スベシ

三 兵中隊ハ夫兵中隊ノ後ヲ續行スベシ

四 爾余ノ諸隊ハ本隊トナリ左記行軍序列ニ入りニ

三「ハ」ヲラベット東端ニ又路ヲ先頭トシテ集合ス

ベシ

左記

大隊本部 第六中隊 機關銃中隊 速射砲

東京・大橋納

0012

151

陸軍

小隊 第八中隊大隊砲小隊 聯隊砲一小隊
第七中隊

五木村少尉ハ特攻作候トナリ吉田大隊ニ連結ス
第六中隊長ハ各隊ヲメリシタニ殘置シ大隊行方
彈藥ヲ監視セシム

予ハモニニハクラフトニ又路ニ在リ

第三大隊長 三 柴 少 佐

下連注 各隊長及校家ヲ射町田少尉ニ要旨口
達後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

現在頁 九
一一〇名

一月三日 水曜日 晴後雨 於ニレクマニシト

一、大隊ハ一時三分テロクマニシニ到着大休止ニ入ルニ時三
十分出發ス 吉田大隊ハ脱意セズト附近ノ敵ニ
對テ中七ニ諸所橋梁破壊セシレ前進容易ナラス

0013

命令

大隊ハ此ノ敵ヲ迂回攻撃スベク十五時三十分、セレスト
 南方五村ノ第一渡邊ヲ先ス渡邊ニ二十時第一渡邊
 タルヲカットシヨシ北方ニ村ノ地奥ニ兵力ヲ集結ス
 二其間中隊ハ舟艇運搬ヲ命セラルニ旅軍曹以下
 三名泥濘ニ墜リテ此ノ作業ニ従事ス
 三 矢作命第六旅

第三大隊命令

一月五日、東南一ニ料

一ガハル附近ノ敵ハ昨夜退却ヲ開始シ師團ハ之ヲ追
 撃中ナリ

セレストノ附近ノ敵ハ砲撃門ヲ有シ吉田大隊ハ此ノ
 敵ヲ攻撃中ナリ

支隊ハ雷面ノ敵ヲ撃破シテ速ニスニカイニ突進シ敵
 ノ退路ヲ遮断ス

二大隊(配属故郷)ハ現在地附近ニ位置シ爾後、突進

東京・大橋納

0014

7

作
命
四

為敵情地形ヲ搜索セントス

ニ第五中隊ハ橋梁西北側附近ニ位置シ吉田大隊

ト連絡スルト夫ニ渡河準備ヲ支ヘシ

四藤井少尉ハ將校作候トナリ本道上ヲ前進シ、セシ

スト橋梁以南ノ敵情ヲ搜索スヘシ

五爾餘ノ諸隊ハ別ニ示ス所ニ位置シ爾後ノ前進ヲ準

備スヘシ

六機關銃中隊ハ天明ト夫大隊集結地ノ所至ニ仕スヘシ

七工兵中隊ハ独立家屋附近ニ位置シ爾後ノ前進ノ

為「スンゲイマナ」河ヲ偵察ヲ實施スヘシ

八予ハ大隊本部ニ在リ

第三大隊長 三 柴 少 佐

下連法 各隊長及各隊命令受領者ヲ集メ、口筆ヲ記ス

ニ大隊命令第七號

陸
軍

0015

第二大隊命令

一月三日
セレスト橋梁西岸

一 大隊ハ、スリハジルトン河北地區ヨリ主カヲ以テ、ケ
ンカットジヨニ進出シ、南面、敵ヲ側背ヨリ攻撃
スルト共ニ一部ヲ以テ、カンホニアエルクニ進出シ、敵
ノ退路ヲ遮断セントス

二 第五中隊(機関銃一小隊屬ス)ハ、挺進隊トナリ
ケンカットジヨニ北方四料附近ニ於テ主カヨリ、
進シ、カンホニアエルクニ進出シ、敵退路ノ遮断
ヲ支ヘシ

三 第六中隊ハ、次々中隊トシ、ケンカットジヨニ北方二料
ノ渡通矣ニ向ヒ前進スベシ

左記

5 MG KIA TA 7 BIA 8

四 第七、第八中隊ハ、輕渡河材料ヨリ折疊升各ニテ

東京・大橋納

0016

8.

命令

五

受領シ携行スベシ

五 工兵中隊ハ直ケニ「セモレスト」北方橋梁ヲ假修スベシ
又予ハ本隊ノ先頭ヲ前進ス

第三大隊長 三 柴 一 伍

下達法 各隊長及各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

天作命第八號

第三大隊命令

一月三日
ケタカトシニ
西北約四料

一 大隊ハ現在地附近ヨリ泛水渡邇ヲ實施スベシトス

二 第五中隊長ハ現在地附近泛水地点ヲ搜索スベシ

三 工兵中隊長ハ第五中隊長ト協力シ泛水地ヲ準備

及障礙樹木ヲ伐倒シ道路ヲ開通スベシ

四 第六中隊長ハ集結地ノ警戒ヲ實施スルト共ニ第八中

隊ト折疊舟搬送ヲ交代セシムベシ

五 第七中隊長ハ折疊舟搬送者數員ヲ前送シ現在地

陸軍

0017



現在頁六
月 日

附近ニ部隊ヲ集結スルニ

六 第八中隊長ハ速ニ聯隊本部ニ至リ聯隊長直轄

タルニ

七 爾余ハ諸隊ハ現在地附近ニ集結シ渡河準備ヲ支

ルニ

第三大隊長

三 此ホ

カ

佐

下達 各隊長並命令受領者ヲ集メ口達筆記ス

一ノ名

一月四日

金曜日

情

於

セリス

一中隊ハ二時三十分ニ大休命第九號ヲ受領シ全員ヲ以テ折

廻舟ヲ那橋深南側ニ搬送シ四時三十分ヨリ第一渡河

突ニ於テ大休共入ル 七時三十分出發本道ニ先ズカニホニ

エルクニクニ向ヒ前進ス

二十時五十分ニ大休命第一ノ號ヲ受領シ中隊ハ二兵小隊

東京・大橋納

0018

協力ノモトニ架橋作業ヲ命ゼラル

ニ兵中隊長ト緊密ナル連結ノモトニ中崎サ村ニ指揮

セシメ各分隊ヨリ一名ツノ炊事要員ヲ派遣シ全員材

木炭材及運搬並土工等ノ架橋作業ニ従事ス

英天下作業ナレドモ全員一致協力ニ志氣益々旺盛ナリ

ニ事ヲ漸次進揚ス

三 王時宿營準備ヲ完了ス

四 本日ノ勤務員互ノ如シ

五 二大隊命第九號

第一大隊命令

一月四日。ニ。カトジ。西北約四料

一 吉田大隊及第三中隊ハ既ニ渡橋シ南面ノ敵ヲ攻

撃中ナリ 大隊主力ハ泛水作業ヲ中止シ速ニ及

轉シ本道ヨリ南面ノ敵ヲ攻撃セントス

高橋 伍長以下五名

勤務 命令

命令

ニ第五中隊ハ主カト夫ニ那都落(セモレスト橋梁三科) 追及轉シ爾後挺進隊トナリ濕地帯ヲ避ケテ北進シ 天作命第七號ニ依ル任務ヲ續行スベシ

三 爾余ノ諸隊ハニ天作命第七號ニ依ル隊形ヲ以テ先 次那橋梁ニ及轉速ニコタンホクニ西側ニ進出スベシ

四 二兵中隊ノ配屬ヲ解カレ

五 第六第七中隊ハ折疊舟ヲ那橋梁南側迄搬送ス

シム

六 予ハ大隊本部ノ先頭ヲ前進ス

第三大隊長 三 柴 少 佐

軍法 各隊長及命令受領者ヲ集メ口達筆記ス

天作命第一〇號

第二大隊命令 一月四日 一〇、三〇

セモレスト橋梁

一 支隊南面敵ハ橋梁ヲ徹底的ニ破壊シ本拂燒

東京・大橋網

退却セリ

横小路隊ハカボニアエルクニヨリ其ノ南方高地ヲ經

テスニカイニ進出スヘク前進中ナリ

ニ大隊ハ隨時横小路隊ヲ超越シ得ル如ク準備ヲ整ヘ

ツクニ續行セントス

ニ第七中隊ハ現在地ヨリエ交中隊ノ橋梁修復作業

ヲ援助シツク大隊主力ニ進及スベシ

四橋本少隊ハデロクアンクニ東方約八軒ノ又路附近

ニ於テ御前中隊ノ指揮ヲ受クベシ

五爾余イ諸隊ハ左記行軍序列ニ依リ、セレスト橋

ヲ後端トシテ集合スベシ

左記

5 6. MG. BIA ITA RIA

六中井挺進隊ハ其ノ任務ヲ解キ速ニ本道上ニ反轉シ

命令

部隊ニ迄及スベシ

七 予ハ大隊本部ノ先頭ヲ前進ス

第二大隊長 三 柴 一 佐

下達法 第五中隊長及橋本ヲ尉ニ傳令ヲ以テ要首口
達後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

× 第二大隊命令第一號

第二大隊命令

一月四日ニ四ノ
スニカイ北方約五料

一 スニカイ南方附近ニハ敵アリテ、スニカイニハ砲彈落
下シアリ

二 大隊ハ現態勢ヲ以テ現在地附近ニ集結シ明朝ノ

前進ヲ前準備セシトス

三 第六中隊ハ一分隊ヲ集結地北端ニ配置營

戒ヲ實施セシムベシ

四 各隊ハ至嚴ナル直接警戒ヲ實施セシムベシ

東京・大橋納

0022



現在頁八

五子八現在地ニ在リ

第二大隊長 三 柴 少 佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一一〇名

一月五日 土曜日 晴後雨 於セスレスト

一中隊八八時起永昨日ニ引續キ中崎ヲ討ニ指

揮セシメ一部ヲ以テゴム材及板材ノ運搬一部ヲ以

テ河水ニ入リテ作業ヲ實施セシム 先成ヲ目ザシテ全

員ニ致協力ナシ時完成ス

ニ午後八時ニ被壞橋梁架梁作業計畫アルヲ以テ人員

不要ナルヲ完全ナル兵器被服ノ手入ヲ實施セシム

三 大時仰端費長ヲシテ南後ノ行動連絡ノタメ部隊本部

ニ赴カシム

四 第三渡梁準備ノタメ十八時ヨリ消令等ヲ實施ス

陸軍

0023



勤務	現在員	月日
五 本署勤務員戸ノ如シ	六 一ノ〇名	一月六日 月曜日 晴 於セマレスト
部隊衛兵 藤 本伍長以下七名		
		一九時中隊ハ御前中尉ヨリ中隊ハ第八中隊山砲
		一中隊ヲ併ニ指揮シ第三大隊長ノ指揮下ニル様
		命令ヲ受領ス
		二中隊ハ二三時出發準備ヲ完了シ第八中隊並山砲中
		隊ノ到着ヲ待ツ
		三十七時五分第八中隊長ハ十時三十分ヨリタイピシ
		軍需監視トシテ服務セシ橋本少尉以下三十名ヲ
		之合ニ指揮シ予ノ指揮下ニル
		四十八時先ステレクアンソニニ向テ出發シ十九時三十分
		到着ス

東京・大橋納

0024

H

陸軍

勤務

三十二將河津準備ヲ完了ス
五本日勤務員任ノ也

命令

六

天作命第一四號

部隊新編

松下伍長以下五名

第二大隊命令

一月十日 大分
シンカイ 東南約 一

一安藤部隊正面敵ハ今尚頑強ニ抵抗シマアリ
市川支隊ハ砲ヲ有スル敵ニ對シ、ランゴール河ヲ渡河
準備中ナリ

大隊ハ一部兵力ヲ以テ市川支隊ノ増援ヲ命セラル
二第七中隊及第八中隊ハ市川支隊ニ追及シ其ノ指揮
下ニ入ルニ

三爾余ノ諸隊ハ、八日午後ニ出發準備ヲ完了シタルハ
四三十八隊本部ニ在リ

第三大隊長

三 柴 少

佐

0025

命令

下達法各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム
天保命第五號

第二大隊命令

八月十六日
スニカイ東南一軒

一安藤支隊ノ戦闘ハ有利ニ進展シ敵ヲ急進中ナリ
渡辺部隊(若又第土聯隊(第三大隊欠)戦車ニ中
隊砲受一大隊ヲ基幹トス)ハ安藤支隊ヲ超越シ
ンジヨマリムニ向テ突進ス

二第二大隊(第七、第八中隊欠)聯隊砲中隊主力速射砲
中隊主力ヲ扇セラルハ速ニ現在地出發安藤支隊ヲ超
越シタシヨマリムニ向テ突進セントス

三因精枝作候ハ道ニ現在地出發安藤支隊ト連絡シ
敵情地形ヲ搜索スベシ

四第六中隊第三小隊ハ夫兵トナリ本隊ノ前方約五
〇〇米ヲタシヨマリムニ向テ前進スベシ

東京・大橋納

0026

42
27



現
枚
頁
A

八

五南余諸隊八丘記行軍序列ニ入り道路上ニ集合シ
タル後尖兵ノ後方約五〇〇米ヲクランジョンマリムニ向テ
前進スベシ

左 記

第六中隊(一小隊欠)大隊本部 第五中隊(一小隊欠)
機銃銃中隊 大隊砲小隊 連射砲中隊 聯隊
砲中隊 第三中隊(一小隊)

大速度ハ約十料トス

又予ハ大隊本部ト共ニ前進ス

第三大隊長 二 柴 少 佐

下達法 各隊命令受領者ヲ集メテ口達筆記スル

一 一〇名

一月八日 大霧日 晴後雨於 五レクマイン
ヤバク

一中隊ハ六時起床八時出發準備ヲ了スル本道上ニ整

陸 軍

0027

勤務 現在員 月 日	勤務 務
列ス	
二九時サバクニ向テ前進ス土時五分橋本少尉以下	
十名ヲ以テ独立工兵トシ連絡地サバクノ偵察ヲサシム	
三十五時三分間道ニ入ル道路起伏シ前進意ノ如クス	
十六時十分サバク對岸ニ到着ス	
十七時渡河開始十七時三分渡河完了ス	
二十時宿營準備ヲ完了ス	
四本日勤務員五ノ如シ	
部隊衛兵 今 日 伍 長 以下 五 名	
一一〇名	
一月九日 水曜日 晴後雨 於バサウーカニジョンカニム	
一中隊ハ七時起床 八時四十分出發準備ヲ完了シ九時	
カニジョンカニムニ向テ前進ス	
二十五時十分ヨリスコール来リ泥土ノ道路ニテ前進意ノ如	

東京・大橋納

0028

13



現在員 月日	勤務
<p>一月十日 木曜日 曇後雨 於タニヨニ出立セル</p> <p>一中隊八九時起床直々ニ令員ヲテ自轉車ニ整備先令テ</p> <p>ル兵器被服ノ手入ヲ實施セル</p> <p>二十時四十分出發準備ヲ完了シ十四時第三大隊ニ進及前</p>	<p>二 本日勤務員左ノ如シ</p> <p>部隊衛兵 渡利上等兵以下五名</p> <p>一 一〇名</p> <p>クオニ十五時ヨリ益々驟雨加ハリ道路泥濘ニ成リ加フル</p> <p>ニ自轉車故障ノ續發ニ夫々自轉車行軍イマク困難</p> <p>ヲ極メ各人ハ負袋ヲ卸シ自轉車ヲ引キ三々伍々</p> <p>戦友相應シテ一步一步牛歩ク</p> <p>恰ニ領海敵前上陸當時ノ光景ガ目前ニカブ</p> <p>二十四時維集ヲ完了シタニヨニカラムニ於テ宿營準備ヲ</p> <p>完了ス</p>

陸軍

0029

勤務

現在頁
月 日

進ス

三十八時五分ヨシシニ到着宿營ス

四 一一〇名

一月十日 金曜日 晴後雨 ヨシシニハトニブルジヤ

一中隊八時起床九時五分出發準備ヲ免テ第三大隊ニ

進及スベク前進ス

二十時ヨシシ東南約八軒 地奥ニ軍スルヤ橋梁破壊

壞セラレテ前進困難ナリ

中隊ハ第八中隊長ニ全カヲ與テテ極力其ノ補修ニ努ム

ニ時ヲ分遣ス

三十八時五分第三大隊ノバドニフルジョンタイ附近ノ戦跡ヲ見

一刻ニ早ク進及ニスト努力ス

四十九時五分附近村落ニ宿營ス

五本ノ勤務員巨ノ知シ

東京・大森納

0030

陸軍

部隊衝突 藤本 文長以下 名

一 一〇名

現在員 六

一月五日 土曜日 晴夜雨 於バドニブルグ
クワラインブル

一中隊八時起永九時三十分出發準備ヲサシム

橋木ヲ耐カンテラワン方向ノ道路ノ偵察ヲ第三大隊トシ連絡

又第八中隊森少尉ヲテラワン方向ノ道路偵察ヲ第

三大隊ト連絡ヲ實施セシムルモ目下不明ナリキ

二 十時四十分ヲ以テ西北方十ノ料ノ三又路ニ到着破榎橋梁

ヲ渡過シ十時三十分先ズラワンニ向テ前進ス

十六時十五分ヲ以テ到着又食糧明朝ノ食ヲ準備シセシム

四 十九時ヲ以テ出發ス又フエト大道ヲ一路 クラレンブルニ

向テ前進ス 二十時十五分 クラレンブルニ到着 二十時五十分

分宿營準備ヲ完了ス

五 本日ノ勤務員左ノ如シ

勤務

0031



現任
月 日

部隊衛兵 鴨 伍長以下×名
一〇〇名

一月十三日 日曜日晴後雨 於クワルンブール

一 中隊八時起床 九時三分出發又 橋本カノリヲ

先行セシメ 第三大隊トノ連絡ヲ實施セシム

二 十時三分進及車路 第三大隊駐聯隊本部ト連絡

ヲ終ル 連日ノスコールノタメ 泥土堆山 砲中隊ノ發射力

搬送ト自轉車故障續出ノタメ 進及今日ニ至ルニテ

非常ニ遺憾トス

三 中隊ハ大隊後歸ヲ命ゼラレ十五時三分宿營準備ヲ

完了又 午後八時明日ノ兵器検査ニ備ヘ完全ニ準備ヲ入員

施セシム

車日ノ不眠不休ノ行軍ナレドモ 全員志氣旺盛ナリ

四 第三大隊日ニ命令

一月十三日一〇時

東京・大橋納

0032

陸軍

一、各中隊ハ查問隊一組ヲ隨時警備隊長、要求ニ依リ出

勤シメ得ル如ク準備シアルベシ

二、日課時限ヲ戸ノ如ク定ム

起 床

日 朝 矣 呼

勤 務 交 代

晝 食

會 報

夕 食

日 夕 矣 呼

消 燈

一、部隊日直將校ヲ左ノ如ク定ム

十三日

MG

中

崎

少

尉

十四日

5

岡

少

尉

0033



現在員
月 日

五

十五日

6

田村

少

尉

一 師團命令ニ依リ部隊微用車(乗用車)ヲ整備ス
各隊ハ微用自動車ヲ速カニ大隊本部ニ返納ス(シ
一 陸軍一等又 藤 岡 勇

古着第二大隊本部勤務ヲ命^免ズ

一 彈藥監視要員ハ其ノ勤務ヲ解ク

一一〇名

一月十日

月曜日

晴

於名ラルニブール

一中隊ハ八時起床九時ヨリ各小隊毎ニ私物面検査實
施ス十時五分異常ナク終了ス

二十時五分ヨリ中隊兵器検査ヲ實施ス一ヶ月ノ戦闘ニ
於テ短時間ノ午入ニ比較シテハ大体ニ於テ良好ナルヲ持
ニ小銃ノ手入れ不充分ニシテ概シテ木被ノ破損ノ大ナルハ道
懐ナリキ

東京・大橋納

0034

陸軍

異動

現在員

月日

輕機関銃擲彈筒ノ手入ハ大体於テ良好ナリ
三午後八各人ノ身且整理ヲ實施セシメ休養セシム

陸軍一等兵 藤 田 勇

井秀隊本部勤務中ノ折共ノ配屬ヲ解カレテ隊復

歸ス

一一一名

一月十五日 大曜日 晴 於多ラブルールマニヤン

一中隊ハ六時三十分起テ夜後準備ヲ完了シ本道上ニ進出順

ニ整列ス

二八時三十分大隊ハ第一機団トシテ先スマニヤンニ向ヒ前進ス

六時三十分マニヤンニ到着直ニ朝朝食ヲ準備シ隨時出

發シ得ルニ休勢ニテリ

三三時三十分命第三號ニ基キ大隊ハケマスニ前進ス(ク

西原大村ノ指揮ニヨリ出發ス

0035

命令

晴族ニテ道路起伏セル天大直ニテ自轉車故障ナク
行軍ハ容易ナリ

二天夜命第三〇號

第三大隊命令

一月十四日ニ三〇〇
クワラルンパー

一 大隊ハ別紙軍隊區分ヨリ新ニ第一機團長ノ指
揮下ニ入り州五日現在地出發先ヲロマンケンニ向ヒ前進
セントス

二 大隊自轉車部隊ハ〇八三〇建制順序及テ本道
上ニ集合シロマンケンニ向ヒ前進スベシ

三 自動車部隊ハ州十五日一日〇〇現在地出發反
記行軍序列ニ入りロマンケンニ向ヒ前進スベシ

左記

步兵第一聯隊ノ一小隊機團司令部 步兵第一
四上聯隊主力 独立連射砲一中隊

東京・大橋納

0036

步兵第土聯隊第三大隊搜索第五聯隊衛生隊一部

四 池本伍長八行李自動車土ヲ十六日迄御前中村指

揮正ニ入レ飛行場整備ヲ實施スベシ

任務終了後八連ニ部隊ニ進及セシムルニトス

土井軍曹ハ機運糧秣ヲ進及自動車ニ積載シ之トス

ニ部隊ニ進及スベシ

五 第六中隊ノ兵站野戰倉庫衛兵ハ兵団第一監視

部隊進及後八連ニ部隊ニ進及セシムルニトス

爾今予道轄トス

六 予ハ大隊自動車部隊ノ先頭ヲ前進ス

第三大隊長 三 柴 少 佐

下連法要旨傳達後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

ニ大隊命令第三一號

第三大隊命令

一月十五日 二〇三〇

命令

五

0037

現在頁
月 日

一 橋岡ハケマスニ向テ敵ヲ急進ス

自轉車部隊ハ即時出發ヲ命ゼラル

二 大隊ハ西原大村ノ指揮ニ依リ歩兵第三里精隊第天

隊長宮本少佐ノ區處ヲテケマスニ向テ前進スベシ

三 予ハ旅團司令部ト同行ス

第三大隊長 三 柴 少 佐

下連法 命令受領者ヲ兼メ口筆筆記セシム

第一橋岡ハ十五タコマンケニ達シ爾後河村部隊ト

依テ次ノ橋岡ヲ逐次繰上ク

一一一名

一月十六日 水曜日 晴後雨 於マニケニ午五時南十料

一 一時十五分セルンハニ到着五時迄大休止ニ入ル

二 大隊ハ前行軍序列ヲ及テ五時前進開始スルニ

ニ向テ前進ス

東京・大橋納

0038

三十時五分ハハヒンニ到着晝食ヲ喫ス

四大隊ハ天休命第三ニ號ニ基テ自動車部隊及自轉車

部隊ヲマテケスニ向ヒ前進ス中隊ハ自轉車部隊トシテ

大隊、最後尾ヲ前進ス 十六時五分 ケスニ西南約五科、

地味ニ到着 五科ハ警戒ノモトニ露營ス

五 齊ノ勤務員戸ノ如シ

部隊衛兵

鳴 伍長以下五名

命令

天休命第三ニ號

第三大隊命令

一月十六日 一ニツバ

一 向田部隊ハケマスノ敵ヲ力攻中ナリ

敵飛行機ハ屢々我上空ニ飛来ニ對シ地上掃射ヲ實施ス

セリ 大隊ハ速ニ道標五八ニ向ヒ急進マントス

二 左記部隊西原大尉ノ指揮ヲ以テ自動車行軍ニ

依リ所命地味ニ急進スベシ

東車道分三付ヲ八字四少村ノ區處ヲ受クベシ

左記

大隊本部、一部第五中隊機関銃中隊 大隊
砲小隊

三 爾今諸隊ハ岩田中村ノ指揮ニ入リ速ニ現在地
ニ出發所命地處ニ急進スベシ

四 各隊ハ行動間村室速藏ヲ徹底シ之ヲ擊滅シ遺骸
ヲ悉ク期スベシ

五 予ハ河村都隊本部ニ先行ス

第二大隊長 三 柴 少 佐

運法 各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記スル

二 大隊命令第三三號

第一大隊命令 一月十六日 一九三〇
ケ及西方十料

一 敵情ハ既ニ示スル通り

命令

東京・大橋納

0040

岡部部隊ハ本道南側ヨリハトアムニ向ヒ敵ヲ
撃ス(クケテ)南側河川線ニ於テ準備中ナリ

二大隊ハ一部ヲ河村部隊タラシメントス

三第八中隊(機關銃一分隊屬)ハ河村部隊直轄トナリ

速ニ河村部隊本部ノ位置ニ集結ス(レ)

第八中隊ハガ丁ノ河南側地區ヲプロカザワブノ東方

田科附近ニ進出敵ノ退路ヲ遮断スニハク前進ヲ命

セラルニテ

四爾余ノ諸隊ハ現在地ニ集結シ爾後ノ突進ヲ準備

セトス 各隊ハ射空遠敵ヲ徹撃セシメ各隊毎ニ射

空監視ヲ置キ敵機及敵機ニ進滅(力ヲシムヘシ)

五予ハ現在地ニ在リ

第二大隊長 三 柴 少 佐

正達法 第八中隊長ニ要月傳達後各隊司令受領者ヲ

0041



集メ口達筆記セシム

一一一名

八

現在員

日

日

一月十七日 水曜日

曇 於ケテ又西南^{附近}料道標六二

一中隊八時起未直ケニ書夕食ヲ準備ス

二十時三分敵飛行機ニ機ノ空襲ニ連ケ中隊八之ニ猛

射ヲ浴セ撃退セシム 成ニ損害ナシ

三二大隊命第三ニ號ニ基キ中隊八三時三分道標六ニ

附近ニ集結シ爾後ノ行動ヲ準備ス

ケテ又方向ニ於テ八砲彈ニキリニ落トシ砲聲^機ノトシテ御音

大渡ル^耳コム林ノ中ニテ至嚴ナル警戒ニ夜ヲ徹ス

勤務員注知

新隊衛長 松下伍長以下七名

命令 五 三二大隊命三四號

第二大隊命令 一月十七日 一九〇〇日

東京・大橋納

0042

2/1

命令
大

一 大隊ハ即時現在地出發目標六ニ附近ニ集結セシメ
 二 各隊ハ速ニ連判順序ヲ以テ路上ニ集合同スヘシ
 三 池本伍長ハ自動貨車ヲ現在地ニ於テ疎開スルノ前
 後ノ前進ヲ準備シテハシ
 四 予ハ大隊本部ト共ニ前進ス
 第三大隊長 三 柴 少 佐
 置込各隊命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム
 三 大命令第三五號

第一大隊命令
 一月十七日 西方五ノ一
 一 大隊ハ道標六附近ニ集結シ爾後ノ行動ヲ準備スルニ
 二 各隊ニ別ニ指示ヲヨリ集結スヘシ
 三 各隊毎ニ直接警戒ヲ嚴重ニ實施スヘシ
 各中隊ハ明天明ニ先志々村空監視有テ配置シ約一小
 隊ノ村空射撃部隊ヲ準備スヘシ

陸軍

0043

命令	現在頁七	月 日
<p>一 敵ハ退却シタリ</p> <p>第二大隊命令</p> <p>一月十八日 一二五</p> <p>道標文 二附近</p>	<p>一 中隊ハ至嚴ナル警戒ヲ施シ夜ヲ徹シ隨時出發シ得ルノ體勢ニアカシム</p> <p>二 八時五分敵爆撃機屢々然ヲ視察撃シ来ル天中隊ハ敢然トシテ射撃ヲ實施シ之ヲ撃退ス我ニ損害ナシ</p> <p>三 天原命令第三文號</p>	<p>四 第五中隊ヨリ約一分隊ヲ露營衛兵トシテ差出し副官ノ指示ヲ受ケシム</p> <p>五千ハ大隊本部ニ在リ</p> <p>第二大隊長 三 此ホ 少 佐</p> <p>下達法 各隊命令及領有ヲ集メ口達筆記セシム</p> <p>一月十八日 全曜日 時 於道標大ニハワケテム</p>

東京・大橋納

0044

陸軍

安藤支隊ハ敵ヲ捕提殲滅スヘク南ヲヨリ敵ノ退路

ニ向ヒ前進ナリ

二大隊ハ爾今向田支隊長ノ指揮下ニ入ラシメラル

三各中隊ハ大隊本部ノ位置ヲ先頭トシ建制順序ニ従

上ニ集合シタル後道標五五附近ニ向ヒ西原大尉迄

迄ヲ以テ前進スベシ

四自動車班ハ九ノ大隊ニ進及スルニ努ムルト共ニ第八

中隊ノ自轉車輸送ニ任ズベシ細部ニ関シハ別ニ示ス

五予ハ直ニ向田支隊本部ニ先行ス

第三大隊長 三 柴 少 佐

下達法各隊命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

中隊ハ右命令ノ受領シ十五時十分現在地出發西原大尉

ノ指揮ヲ以テ道標五五附近ニ集合ニ集結ス

尙時砲十數門ヲ有スル兵力未詳敵ハ數日未ヨリハナシム

0045

命令

四

西側附近一帯高地に陣地ヲ築ク領シ獨強ヲ求ル林枕ヲ設テ砲陣
ハ附近コノ林内ニ落下レワナリ

天作命第三八號

第二大隊命令

一月十八日 一四三〇
ケテ東側 地名 邦落

一、ハワアナム西側附近ニハ兵力未詳、敵陣地ヲ占領シアルニ

ノ如シ、其ノ砲兵ハハワアナム西側附近ニ在リ、如シ

ニ支隊ハ依然前面敵陣地ヲ突破シ、ハワアナムニ向テ進出

ヲ企圖ス

五、大隊(第八中隊機関銃一分隊及ハ第一線トナリ本

道ニ合ス)北側地區ヲ前進シ敵ノ右側ヲ攻メテ攻撃セシム

四、爾余、諸隊ハ第二線トナリ左記順序ヨリ第一線後方

ヲ前進スベシ

五 記

大隊本部 第五中隊 機関銃中隊 第六中隊

東京・大橋納

0046
0047

命令

四 天作命第三八號

西側附近ニ帯高以テ陣取リ事告領シ頑強ニ抵抗スル者ハ即チ砲撃スルコトヲ命ジ
ハ附近ノ森林内ニ落下シテマシ

第三大隊命令

一月十八日 一四三〇
ゲス東側陸名郡落

一 ハワア子ム西側附近ニハ兵力未詳ノ敵陣地ヲ占領シ居テ
ノノ如シ 其ノ砲火ハハワア子ム西側附近ニ至ル如シ
ニ 支隊ハ依然前面ノ敵陣地ヲ突破シ ハワア子ムニ向テ進出
ス

三 第七中隊(機関銃一十隊属又)ハ第一線トナリ本道北
側ノ森林内ヲ前進シ 敵ノ右側ヲ乘メテ攻撃スルヘシ

大隊本部 第五中隊 機関銃中隊 第六中隊

(東京・大橋納)

0046
0047

陸軍

大隊砲小队ハ専進出ニ伴ヒ之ヲ連繫スル如ク奮
上ヲ前進スヘシ

五子ハ第一線ノ後方ヲ前進ス

第二大隊長 三 柴 少 佐

下連法各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

右命令ニ基キ左記命令ヲ下達ス

五 岩作命令第一號

岩田隊命令 一月十八日 一五〇〇
ケス東側無名村落

一 敵情及友軍ノ情况ニ大伴命令第三八號ノ如シ

二 中隊(第三小队)大機関銃一小隊内ニハ第一線トナリ本

道北側コム林内ヲ前進シ敵ノ左側ヲ束メテ攻撃セシム

三 第三小队ハ第一線トナリ中隊ノ先頭百米ヲ前進シ

敵ノ左側ヲ束メテ攻撃スヘシ

四 機関銃小队ハ第一小队ノ後方ヲ前進スヘシ

0048

五爾余ノ諸隊ハ本隊トナリ左記行軍序列ニ入り
一隊ノ後方ヲ前進スベシ隨時展開シ得ル休勢ニテラ
要ス

左記

第一小隊—機關銃小隊—指揮班—第三小隊
六子ハ中隊指揮班ノ先頭ヲ前進ス

岩田隊長 岩田中尉 村

下達法 各小隊長ヲ集メ口達

右命令ヲ下達シ中隊ハ大隊ノ第一線トシテゲス西
方四料ノゴム林ヲ出發敵砲彈ノ集中火ヲ冒シテ
其間隙ヲ前進シハフテ十ハ附近敵背後ニ向テ前進ス
同日正午五十分敵陣地北方約三料ノ地裏ニ達セリ
當時ハ双尺ヲ辨セズ時夜ニテ加フルニスコールノタメ略
上六泥澤化シ部隊ノ行動意ヲ知ラナラサシメ又中隊先ク

東京・大橋納

0049

陸軍

命令

地脊後ニ近道スルヲ得タリ
岩作命第二號

岩田隊命令

八月十八日 三一二四五
八月十八日 南方 三一二

一砲ヲ有スル約三百ノ敵ハハズナク西側附近ニ陣地ヲ占領
シテ

二中隊ニ少隊欠機関銃（小隊）ハ直ケニ此ノ敵ヲ攻撃
シ強滅セトス

三第一小隊ハ左第一線トナリ道路左側ニ展開シ主ト
シテ敵ノ右側塔ヨリ攻撃スベシ

四第三小隊ハ右第一線トナリ右前高地附近ニ展開シ
主トシテ敵ノ右側塔ヨリ攻撃スベシ

五機関銃中隊ハ中央後ニ位置シ主トシテ第一小隊ト
戦鬪ニ協力スベシ

0050

六 精悍班ハ各小隊ト連絡ヲ密ニ第一小隊ノ後方ヲ
前進スヘシ

× 攻撃開始時期ハ別命之ルニ中隊長開直後夫
ハ予ハ第一小隊ノ後方ヲ前進ス

岩田隊長 岩田中尉

下連法 各小隊長ヲ兼メ口達

中隊ハ右命令ヲ下連ス夜襲ヲ以テ該陣地ヲ奪取ス
ノ第一小隊ヲ左第一線第三小隊ヲ右第一線機關銃小隊
隊ヲ中火後トシ攻撃ノ体勢ヲ整ヘ肉迫中敵ハ我ノ企圖
ヲ察知セシモ力不意急襲的ニ猛烈ナル銃砲火ヲ浴セ然カ
前進ヲ阻止セシト頑強ニ抵抗セリ

中隊ハ之ニ應ヒテ敵火ヲ冒シテ阿修置ノ如クハ峯ニ突
シ該陣地ヲ奪取スルニ至ル

時ニ三十一時五分ナリ